

2023 年 1 月号 (320 号)



「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の
成果発表会を開催しました (P2)



令和4年版環境白書を発行しました (P4)



電気自動車「bZ4X」を公用車として率先導入
しました (P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」
Web ページは
こちらから→

今月号とバックナンバーを掲載しています。





「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の 成果発表会を開催しました



持続可能な未来のあいちの担い手を育成するため、大学生が研究員となり、パートナー企業・団体からの環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会を開催しました。

第8期となる39名の研究員は、6月26日の開所式以降、8チームに分かれてパートナー企業・団体を訪問し、環境取組の現地調査や担当者とのディスカッションを行うとともに、チームミーティングを繰り返し、課題の解決策を検討してきました。

成果発表会では、各チームの研究成果の発表と併せて、研究活動の締めくくりとなる修了式と表彰式も行いました。

1 概要

日 時 12月11日(日) 13:00～16:30

会 場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
南館 DS101 (DS ホール)

参加者 147名

2 研究成果発表会

各チームは、10分間という短い時間の中で、創意工夫を凝らした発表を行い、パートナー企業・団体の代表者及び審査員から講評をいただきました。



「チーム・Pasco」の発表

3 修了式

大村知事は研究員に対して、半年間にわたる研究活動を労い、「持続可能な未来のあいちの担い手として活躍することを期待する」とエールを送りました。また、研究員を代表して「チーム・Pasco」の中彩乃さんが、大村知事から修了証を受け取り、「SDGsと真正面から向き合ったこの半年間は、世界をより良くするために、私たちがこれからの人生をどのよ

うに歩めば良いのかを考えるきっかけとなりました。私たちは本日まで8チームに分かれて力を尽くしてきましたが、これからはチーム・愛知の一員として、サスティナ研究所で培った力を発揮していきます」と感想を述べました。



修了証授与

4 表彰式

審査員審査による最優秀賞・優秀賞と、参加者投票によるオーディエンス賞を選定し、表彰しました。

選定結果

賞	受賞チーム
最優秀賞	チーム・バロー
優秀賞	チーム・Pasco
オーディエンス賞	チーム・ホーユー

最優秀賞には、家庭で眠っている食品に着目し、地元の人が自らフードドライブに貢献できる機会と食品がほしい人をつなぐオンラインサービス「おもいやりをポストに バロー『ネットでフードドライブ』」を提案した「チーム・バロー」が輝きました！



最優秀賞を受賞したチーム・バロー

5 その他

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>)

あいちサスティナ研究所



検索

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「あいち地球温暖化防止戦略2030」を改定しました



愛知県は、2018年2月に策定した「あいち地球温暖化防止戦略2030」に基づき、「2030年度における温室効果ガス総排出量を2013年度比で26%削減する」ことを目指し、本県独自の特色ある取組を進めてきました。

しかしながら、地球温暖化に伴う気候変動は深刻さを増しており、ここ数年国内外において、2050年カーボンニュートラル*や、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

* 温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質ゼロとすること

国は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラルを目指す」ことを宣言するとともに、2021年10月に閣議決定した「地球温暖化対策計画」等で、「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すとともに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく」ことを位置付けました。

こうした状況を踏まえ、本県の地球温暖化対策を加速するため、今年度、学識経験者や関係団体の代表者等で構成される検討委員会において、戦略の改定について検討を進めてきました。

この度、「あいち地球温暖化防止戦略2030」を改定しましたので、そのポイントをご紹介します。

【ポイント①】

温室効果ガス排出量の削減目標を引き上げ

2030年度の県内の温室効果ガス総排出量の削減目標を、2013年度比で、これまでの26%減から46%減に大幅に引き上げ、2050年までにカーボンニュートラルを目指します。

部門別の温室効果ガス排出量削減目標(2013年度比)

部門等	削減率
産業部門	▲34.6%
業務部門	▲69.2%
家庭部門	▲77.6%
運輸部門	▲46.2%
その他*	▲34.2%
総排出量*	▲46.0%

※吸収源対策を含む。

【ポイント②】再エネの導入目標を新たに設定

2030年度までに県内で導入される再生可能エネルギーを、現状(2021年度)より1.7倍増加させ、580万kWとします。(単位:万kW)

種類	現状	目標
太陽光発電(住宅)	104	172
太陽光発電(非住宅)	185	288
風力発電(陸上)	7	14
小水力発電	0	1
バイオマス発電	39	106
合 計	335	580

注:端数処理により内訳と合計が一致しない場合があります。

【ポイント③】重点施策を柱に取組を加速

以下の6つの重点施策を柱として、これまで進めてきた「徹底した省エネルギー」と「創エネルギーの導入拡大」を加速するとともに、「愛知発の脱炭素イノベーションの推進」や「水素利用のさらなる拡大」等により、目標の実現を目指します。

- 1 脱炭素プロジェクトの創出・支援
- 2 意識改革・行動変容
- 3 建築物の脱炭素化の推進
- 4 脱炭素型事業活動の促進
- 5 ゼロエミッション自動車の普及加速
- 6 水素社会の構築

46%削減や2050年カーボンニュートラルは大変高い目標であり、その実現には、私たち一人一人の責任の自覚や行動の実践、県民、企業、行政等すべての主体の連携・協力が必要不可欠です。

今後、新しい戦略を基に、地域の総力を挙げて、産業、業務、家庭、運輸など、あらゆる分野の脱炭素化を強力に推進し「カーボンニュートラルあいち」の実現を目指していきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/senryaku2030kaiteiban.html>)



地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242(ダイヤルイン)

令和4年版環境白書を発行しました



環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年県議会に提出しています。



県議会須崎議長(中)及び佐藤副議長(右)に
水野環境局長から報告(12月16日)

1971年の初刊発行以来52冊目となる「令和4年版環境白書」は、第1部「特集」として以下の内容を紹介し、第2部で「令和3年度の環境の状況と施策」を掲載しています。巻末には、環境基準等の各法令に基づく基準値等を資料編として加えています。

特集1 カーボンニュートラルの実現に向けて

カーボンニュートラルの実現に向けた本県の主な取組

特集2 サーキュラーエコノミーが浸透した循環型社会の形成に向けて

愛知県廃棄物処理計画やあいちサーキュラーエコノミー推進プランの概要

＜環境白書をご覧になりたい方は＞

「愛知県県民相談・情報センター」の情報コーナー(愛知県自治センター2階)で、1部1,240円で販売しています。また、以下のWebページに全文を掲載しています。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)

愛知県 環境白書

検索



環境政策課 企画・広報グループ

電話 052-954-6210(ダイヤルイン)

あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します



愛知県では、森と緑づくりにつながる活動や環境学習を行うNPO・ボランティア団体、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

この度、今年度の取組事例の発表や参加者同士の情報交換などを行う「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」を開催します。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでも無料でご参加いただけますので是非お越しください。

1 日時 2月10日(金) 13:30～16:30

2 場所 愛知県西三河総合庁舎10階大会議室
(岡崎市明大寺本町1-4)

3 定員 150名(申込先着順)

4 申込方法

氏名、団体所属の方は団体名、電話番号、Eメールアドレスをご記入の上、FAX又はEメールによりお申込みください。

FAX: 052-954-6914

Eメール: kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

5 申込期限

2月2日(木)まで

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/happyou-kouryuu.html>)



あいち森と緑づくり交流会

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮グループ

電話 052-954-6240(ダイヤルイン)

「フロン類排出抑制対策に関する講習会」の

動画を配信します



フロン類は、エアコンや冷凍・冷蔵庫などの冷媒として広く使用されてきましたが、オゾン層の破壊や地球温暖化の原因となることから、使用量の削減や排出抑制が求められています。

愛知県では、関係事業者の方にフロン類の排出を抑制する取組を進めていただくため、2020年4月1日に施行されたフロン排出抑制法の改正内容を中心に「フロン類排出抑制対策に関する講習会」の動画をオンラインで配信します。是非ご視聴ください。

1 内容

講演「フロン排出抑制法について」

講師：(一社)日本冷凍空調設備工業連合会

事務局長 ^{おおさわ つとむ} 大沢 勉 氏

※機器ユーザー向けと関係業者（フロン類充填回収業者、工事業者等）向けの2種類の動画を視聴できます。

2 配信期間

2月6日（月）から3月30日（木）まで

3 視聴方法

以下のWebページ内からYouTube動画をご視聴ください（通信費は自己負担となります。）。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/04furonkosyukai.html>)



フロン講習会 愛知県

検索

水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6456（ダイヤルイン）

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を

実施しています



買い物をするときに、必要なものかどうかを十分に考慮した上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県は、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び関係団体・事業者と連携・協働して、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を2002年度から実施しています。

キャンペーン期間中、参加店舗において、環境ラベルが付いた商品や、地元・旬のもの、詰め替え商品又は環境配慮商品を購入して、キャンペーンにご応募いただいた方の中から、抽選で素敵な商品をプレゼントします。是非ご参加ください。



1 キャンペーン期間

2月8日（水）まで

2 応募方法

参加店舗に備え付けの応募はがき又はインターネット応募フォームからご応募ください。

(https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerDetail_initDisplay.action?tempSeq=62207&accessFrom=)



詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci500005152.htm>)



グリーン購入キャンペーン

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

電気自動車「bZ4X」を 公用車として率先導入しました



愛知県では、「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」(2021年3月策定)に基づき、自動車税種別割の課税免除制度や中小企業者等への導入補助制度など様々な取組を進めることにより、走行時にCO₂(二酸化炭素)を排出しないEV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)・FCV(燃料電池自動車)の普及促進を図っています。

その一環として、トヨタ自動車(株)のEV「bZ4X」2台を県公用車に率先導入し、12月8日に納車式を開催しました。



知事によるあいさつ

納車式では、トヨタ自動車(株)によるbZ4Xの解説の後、知事及び林副知事へのレプリカキーの受渡し、知事による試乗や充電デモンストレーションが行われました。

2台のbZ4Xは県本庁舎と東三河総局(豊橋市)に配備し、公用車として使用するほか、環境学習等のイベントで展示するなどゼロエミッション自動車の普及啓発にも活用していきます。



充電デモンストレーションの様子

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217(ダイヤルイン)

「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました



大規模災害が生じた際に発生する大量の廃棄物は、生活環境を悪化させるだけでなく、復旧・復興の大幅な遅れへとつながるおそれがあります。

「愛知県災害廃棄物処理計画」では、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を行うこととしており、愛知県、市町村及び民間事業者団体等*が連携・協力して、11月16日、17日に災害廃棄物処理図上演習を、愛知県自治センターで実施しました。

* 県(環境局、防災安全局、県民事務所等)、市町村、一部事務組合、環境省中部地方環境事務所、民間事業者団体(愛知県衛生事業協同組合、(一社)愛知県産業資源循環協会、(一社)愛知県環境測定分析協会、(一社)愛知県解体工事業協会、(一社)愛知県土木研究会、(一社)日本建設業連合会中部支部)

図上演習では、グループに分かれた参加者が被災都市の廃棄物部局職員として、記録的な大雨が発生

した後3日目から5日目までの3日間の想定で、時間経過に応じた災害廃棄物処理に係る様々な課題への対応を模擬的に実践・確認しました。参加者には、住民からの要望などに対して一定時間内での判断を求め、災害時の切迫感を疑似体験してもらいました。

演習を通じて、業務手順や連携体制を確認することができ、災害時の対応力の向上につながるものとなりました。



図上演習の様子

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234(ダイヤルイン)

○ 愛知県初の「グリーンボンド」の発行について

県では、脱炭素社会の実現を見据え、投資家層の拡大により安定的な資金調達を実現し、環境改善効果のある事業を着実に推進していくとともに、持続可能な地域づくりへの関心を一層高めていくために、2022年12月に県初となるグリーンボンド※を機関投資家向けに発行しました。

※グリーンボンド

企業や自治体が、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券の呼称（出典：環境省「グリーンファイナンスポータル」）

愛知県グリーンボンドが活用される適応策（予定）

河川海岸整備	
愛知県が管理している河川は、60水系、289河川、総延長1,862km。これら県管理河川の洪水想定氾濫区域は県土の約2割を占め、区域内には220万人以上の人々が住むと共に48兆円を超える資産を有する。河川海岸整備事業は、大雨時における県民生活の安全・安心を確保するため河道掘削（浚渫）や護岸改修等、流下能力の不足している河川整備を進める	
	
2022年度の対象事業 浚渫事業（天白川等） 河川改修等（柳生川等）	
砂防関係施設整備	
愛知県は、山地丘陵部が県土の6割以上を占め、地質的にも複雑で脆弱な地域が多く、土砂災害が発生しやすい特質がある。砂防関係施設整備は、土砂災害から県民の生命等を守るため、ハード対策として土石流対策や、がけ崩れ対策を行う	
	
2022年度の対象事業 神谷沢等の整備を予定	
農地防災対策	
農地防災対策は、農地及び農業用施設等の自然災害を未然に防止することを目的に、排水機場等の農業水利施設等の改修整備等を進める	
	
2022年度の対象事業 日光西三期地区（津島市、愛西市、蟹江町）等の整備を予定	
治山施設等整備	
愛知県は、山地災害発生危険性が高い渓流や崩壊の恐れがある森林に対して、治山事業を実施。治山施設等整備は、山地で発生する災害から生命・財産を守る	
	
2022年度の対象事業 岡崎市宮崎町等の整備を予定	

出典：「愛知県が発行するグリーンボンドのご案内」

「愛知県グリーンボンド」により調達した資金は、信号機のLED化、公用車の電動化などの事業（緩和策）に充当するとともに、気候変動に起因した自然災害による被害の回避、軽減を図る「気候変動への適応」事業（適応策）にも充当する予定です。

グリーンボンドの発行により、県民、事業者、金融機関、行政機関など、様々な主体による脱炭素社会の実現に向けた取組が一層促進されることが期待されます。

詳細はWebページをご覧ください。

愛知県グリーンボンド

検索

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/zaisei/greenbond-aichi-3.html>)



○ ウォームビズの取組について【緩和策・適応策】

過度な暖房に頼らず様々な工夫をして冬を快適に過ごすライフスタイルを「ウォームビズ」といいます。

ウォームビズでは、「寒いときは着る」という原点に立ち返り、暖房の利用を無理のない範囲（室温20℃を目安）に控えることで、無駄になってしまうエネルギーを節約することができます。地球温暖化の原因となるCO₂の発生を削減することができ、電気代の節約にもつながります。

なお、ウォームビズには、体調や暑さの感じ方等、個々の事情等を踏まえた取組が大切です。

環境省のWebページでは、ウォームビズのポイントとして、ライフスタイルの見直しに役立つ衣・食・住でできる工夫やアイデアを紹介しています。是非ご活用ください。

ウォームビズ

検索

(<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/warmbiz/>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター

電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

「令和5年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 県内中学生の作品が受賞しました



「令和5年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」

(主催：(公財) 日本鳥類保護連盟)において、愛知県選考作品として推薦した小牧市立小牧西中学校 2 年の服部 椿^{はっとりつばき}さんの作品が林野庁長官賞を、刈谷市立依佐美^{よさみ}中学校 3 年の山下千尋^{やましたちひろ}さんの作品が(公財) 日本鳥類保護連盟会長賞をそれぞれ受賞しました。

愛鳥週間用ポスター原画コンクールは、全国の小・中・高等学校等の児童・生徒を対象に次年度の愛鳥週間用ポスターの原画を募集し、優秀な作品を表彰するものです。県内からは、502 校の小・中・高等学校より計 15,874 点の作品の応募があり、県の審査会において特に優秀と認められた 30 点を県の選考作品として、全国コンクールへ推薦しました。全国コンクールでは、各都道府県から推薦のあった 408 点の作品について審査が行われました。

募集結果

学校区分	愛知県 (全国)		
	学校数	応募総数	送付数※
小学校	315 (1,513)	11,081 (21,132)	18 (153)
中学校	178 (1,347)	4,756 (13,021)	9 (145)
高等学校	9 (255)	37 (1,524)	3 (110)
合計	502 (3,115)	15,874 (35,677)	30 (408)

※送付数：各都道府県が推薦した作品数

なお、受賞作品を含む県が推薦した作品 30 点については愛知県弥富野鳥園で展示しています。また県庁地下通路でも展示します。

●愛知県弥富野鳥園 2 階会議室

弥富市上野町 2-10 TEL:0567-68-2338

1 月 31 日 (火) まで (10 日は振替休園)

9:00~17:00 (月曜日休園)

●愛知県庁本庁舎・西庁舎間の地下通路

5 月 10 日 (水) ~5 月 16 日 (火) までの

愛鳥週間期間 (ただし閉庁日は除く。)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r5aicho-kekka.html>)



令和5年度愛知県愛鳥週間用ポスター

検索

自然環境課 生物多様性保全グループ

電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)

<受賞作品>

林野庁長官賞

(公財) 日本鳥類保護連会長賞



はっとりつばき
服部 椿 さんの作品



やましたちひろ
山下千尋 さんの作品

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

2023 年 1 月 10 日発行(第 320 号)

編集・発行 愛知県環境調査センター

企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6

電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

明けましておめでとうございます。2023 年が始まりました。新年を迎え、今年の目標は立てられましたでしょうか。

光熱費高騰の中、暖房費を上手に節約しながら、体調を維持し、感染症から自分や家族を守るようにしていきたいですね。

今年も「環境かわら版」では、本県の環境行政情報を発信していきますので、よろしくお願いいたします。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右の QR コードからアクセスできます。

※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。

